

第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	福岡県立八幡南高等学校
チーム名 (メンバー名)	「若者の地元定着」 (眞弓 大地、橋口 拓実、久保 翔太、渡辺 太貴、村上 諒弥)
作品タイトル	「北九州市都市化計画」
関係する SDGs のゴール	11 「住み続けられるまちづくりを」
説明文	<p>私たちは北九州市がさらに発展していくには、イメージアップが不可欠だと考えました。イメージというのはとても大きなもので、イメージ1つで長所がかき消されてしまうことがあります。例えば、長崎県は観光や食べ物が有名ですが、実は重工業が発展しています。そこで私たち北九州市民が私たちの市にどのようなイメージを持っているのか、北九州市外の人が北九州市のことをどのように見ているのかという2つのことに焦点を当てました。一般の人の意見を聞くために小倉駅と黒崎駅で102名に聞き取り調査を行い、その結果、全体の87%の人が良いイメージを持っており、残りの13%の人が悪いイメージを持っていました。その理由として、「暴力団がある」「成人式が激しい」「公害問題」などが挙げられました。一方、良いイメージを持っている人の理由は、「交通の便が良い」「自然が多い」などのありきたりなものばかりでした。このことから、北九州市外の人たちからのイメージアップと、北九州市民が北九州市のことについての理解度を上げる必要があると考えました。</p> <p>私たちは2つの解決策を提示します。1つ目は、ローカル番組に大物芸能人や情報を拡散できる人に出演してもらうことです。そのことによって市内の人が番組を見ようと思う動機になると考えます。2つ目は、新しいPVの作成です。現在、北九州市では市の悪いイメージを排除するための素晴らしいPVがあります。そして、北九州市の安全性を高めるための取り組みを宣伝するポスターもあります。このポスターの内容をPVに取り入れることで、より強い影響力を持ったPVになると考えました。さらに、このPVにも大物芸能人に出演してもらうことによって、大都市に対しても大きな影響を与えられることが期待できます。この2つの解決策によってイメージアップを図り、「若者の地元定着」を実現させることが可能となり、さらにSDGsの目標の11番「住み続けられるまちづくりを」の解決につながると考えます。</p>
課題、 今後の展開など	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に向けて自分たちが身近に行動できることが少ないこと。 <p>○今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近頃若者のテレビ離れが進んでおり、YouTube や SNS をもっと活用すべきである。
参考文献等	「北九州市勢概要 2018」

(説明文は1ページ以内)